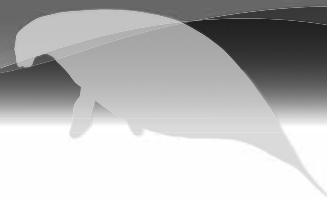


連載 豊平川に眠る人魚 最終回



運命の出会い

豊平川の岸辺に現れたカイギュウ化石を目にしてから5年の月日がたちました。しかし、その時の驚きと興奮は今もはっきりと覚えています。それは、私が10歳のとき、化石と最初に出合ったときの「ときめき」にも似ていました。おさえることのできない心臓の鼓動に全身が包まれ、豊平川のせせらぎも木々をわたる風の音も完全に消えていたのです。

私がかいギュウ化石に初めて出会ったのは1980年、今から28年前です。はじめはふつうのクジラだと思っていた化石が、実は大きなかいギュウの化石であるとわかったのは発掘から3ヶ月後のことでした。今からおおよそ500万年前の北海道に、独自に進化した大型のかいギュウが生息していたことがわかり、「タキカワかいギュウ」と名づけたのです。1987年、沼田町、ここで私はまた新たなかいギュウに出会いました。900万年前の地層から発見された化石は十分に成長した個体のものでしたが、復元しても4mほどで、7mを超えるタキカワかいギュウとは明らかに異なります。これを「ヌマタかいギュウ」と名づけ、大きな「タキカワかいギュウ」は小さな「ヌマタかいギュウ」から進化したのではないかと考えてきました。しかし、その生息年代には400万年もの空白期間があり、大型化した時期はなぞのままでした。そこに「サッポロかいギュウ」が発見されたの



▲空知川の水をせきとめて発掘されたタキカワかいギュウ

です。大型の「サッポロかいギュウ」は今から820万年前に生息していたことがわかり、まさにヌマタかいギュウから“大型化のバトン”を受け取ったかいギュウであることがわかりました。しかも、大型のかいギュウとしては世界中のどのかいギュウよりも古い年代であることがわかったのです。

私とかいギュウとの出会いは偶然の連続でしたが、運命的なものを感じないではいられません。これからも新たな出会いのあることを予感しつつ、ひとまずこのシリーズを閉じたいと思います。(古沢)

第23回 iミュージアム企画展

科学は芸術だ！～人と自然と地球の仲間～木戸颯音創作展

開催期間 開催中～2008年3月1日(土)

会場 札幌市博物館活動センター展示室

入場無料

05年5月、海岸に漂着したネズミイルカと遭遇したことをきっかけに、木戸君はクジラ類の絵を描き始めました。それは、博物館活動センターとの出会いでもありました。できるだけ生物学的に正確に描こうと、木戸君は学芸員の書棚からクジラの本をひっぱりだしては調べていきました。

科学は研究対象を「美しい!」と思うところから始まることもあるのではないのでしょうか?



▲きっかけになったネズミイルカ(頭骨)。

◀展示準備の様子
海の中の様子を思い描いて、クジラの模型をつりました。

行事おしらせ

申込不要・無料

自然科学 絵本よみきかせ&学芸員の小ネタ話

日時 2008年2月23日 [テーマ] 冬の森、冬の海
3月29日 [テーマ] 待ちに待った春
いずれも(土)14:00~14:30

会場 札幌市博物館活動センター展示室
※ベビーカーのまま入れます。館内におむつシート2台あり。

対象 3歳~大人

費用 無料

読み手 : 自然科学の絵本よみきかせの会「じゅごん太」
小ネタ話: 札幌市博物館活動センター学芸員



小ネタ話とは?

学芸員が絵本の中から科学につながる「ネタ」をピックアップし、誰にでもわかりやすく楽しく、しかも10分程度にまとめてお話しします。普段は見られない標本を「蔵出し」することもありますよ。
「豆知識が増えた」という大人の方の声も、子連れでなくてもOKです。

第5回自然探求サポート事業 成果報告展示

さっぽろの自然、めっけ! Vol.5

開催期間 2008年3月15日(土)~5月10日(土)

会場 札幌市博物館活動センター展示室

入場無料



岩石の硬さや重さ、葉のいろいろな形を調べた成果をまとめて発表します。どちらのテーマも小学4年生が学芸員のサポートを受けながら、自分の疑問解決に取り組んだ結果です。

★成果報告発表会★

2008年3月29日(土) 13:30~14:30 **入場無料** 皆さんの前でスライドを使って発表し、展示解説を行います。



札幌市博物館活動センターご利用案内

【開館時間】 10:00~17:00 【入館料】 無料

【休館日】 日・月曜日、祝日、年末年始

● STVホールスピカの西隣、旧市立病院の建物がリンケージプラザです。

● 駐車場はありません。近くの有料駐車場におとめください。

〈地下鉄〉 東西線西11丁目駅4番出口から徒歩5分

〈市電〉 西8丁目または中央区役所前電停下車徒歩8分

〈バス〉 北1条西7丁目バス停降車徒歩3分

編集後記

来館者数 **54,612** 人 (2008年1月末現在)

うっすら雪の積もった朝、いつもの様にあわてて車に乗り込みワイパーでフロントガラスの雪をはらうと、目の前一面にパッと白い花畑が広がりました。背景には良く晴れた空の青。突然現れた自然の芸術「窓霜(まどしも)」の文様に、急ぐのも忘れていました。(ま)



さっぽろ市
03-K04-07-812
19-3-136



ミュースレターは、再生紙および大豆油インクを使用しています。